



質問表題の右横にある2次元コードを読み取ると、それぞれの議員の一般質問の様子を全てご覧いただけます。



本市の防犯対策について



創政クラブ 矢部 伸幸

議員 防犯カメラの設置について、本市の所見を伺います。
総務部長 防犯カメラの設置は犯罪抑制や証拠提供につながり、地域の安全安心度が高まるなど、大きな効果があると捉えています。
議員 本市では防犯カメラの設置に補助金を交付していますが、今後の周知について伺います。
総務部長 市広報やホームページの掲載に加え、今後はSNSなどを利用し、啓発の強化を図っていきたいと考えています。
議員 防犯カメラの増設には市の補助や環境整備が必要ですが、市民を巻き込み、「防犯カメラ設置日本一のまち」を目指すことについて、市長の所見を伺います。
市長 防犯カメラは犯罪の抑止効果が期待できると認識しています。今後も防犯カメラの効果的な配置や市民と行政が協働で防犯活動を進めることにより、安心して暮らせ

るまちづくりを推進していきたいと考えています。
議員 防犯カメラの電力を太陽光パネルなどで生み出すことで脱炭素化と安全安心なまちの推進につながると考えますが、所見を伺います。
市長 クリーンエネルギーの利用は地球温暖化防止の観点とエネルギーの安全保障の確保に貢献するものであり、耐久性や費用対効果も含め、今後の導入について研究していきたいと考えています。

■その他の質問
▷農地防災事業の今後について



単身(独居)高齢者の身元保証及び死後事務支援体制の構築について



公明党 高橋 えみ

議員 単身高齢者の身元保証や死後事務への不安の声をどのように把握しているのか伺います。
福祉こども部長 調査による実態把握は行っていません。
議員 本市においては、多くの身元引き受けや死後事務を市内のNPO法人「ほほえみの会」が対応しており、新たな受け皿が求められます。多くの相談対応に苦慮している現場への支援について伺います。
福祉こども部長 状況の緩和に向け、関係機関などとの情報交換の場を設け、どのような支援ができるかを研究したいと考えています。
議員 国の社会福祉法改正の背景と本市の認識について伺います。
福祉こども部長 身寄りのない高齢者の増加により、身元保証や死後の葬儀などの事務を担う親族がないことが課題であり、支援体制の構築が望まれる状況です。
議員 国の制度開始までの間に

おける本市の対応と連携体制について、市長の所見を伺います。
市長 関係団体との連携は重要な一歩であり、法改正にスムーズに対応できるよう連携体制の構築を検討していきたいと考えています。
議員 高齢者の不安に対する実態調査と段階的な支援体制の構築について所見を伺います。
市長 ひとり暮らし高齢者調査の項目に質問を追加し調査するなど、単身高齢者のニーズを把握して、支援体制の構築に向けて検討していきたいと考えています。



持続可能な財政運営に向けたネーミングライツの拡大について



公明党 前田 純也

議員 施設に企業名を冠した愛称を付ける施設命名権「ネーミングライツ」は、本市では太田市総合体育館に導入されましたが、効果について伺います。
文化スポーツ部長 ネーミングライツは施設の維持管理費の負担軽減を目的として導入され、略称である「オプアリ」が広く周知されたことにより、最先端の映像と音響設備のアリーナとして全国区の知名度になるという効果が出ています。
議員 この効果を生かして、他のスポーツ施設や文化施設などにも拡大できるのではと考えますが、今後の導入について所見を伺います。
文化スポーツ部長 市を象徴する大規模施設が多いため、スポンサーと意図や狙いが合致すれば相乗効果が期待できますので、今後は効果を見極めながら実施していきたいと考えています。
議員 財源確保は大きな課題で

あり、持続可能な財政運営への取り組みにつながるため、ネーミングライツの拡大に向けて検討すべきと考えますが、市長の所見を伺います。
市長 財源の確保や導入する企業の知名度向上、地域の活性化など、市と企業の双方にメリットがある取り組みですので、施設の選定や審査基準の明確化を進め、導入していきたいと考えています。

■その他の質問
▷気候変動から市民の命を守るための熱中症対策について



市内周遊促進の仕組みづくりについて



市民ファーストの会 山水 めぐみ

議員 市外来訪者を周遊につなげ、市内消費拡大を図るための仕組みづくりについて伺います。
産業環境部長 若手職員を中心に部局を越えて、市全体で観光振興や魅力発信を推進していく「太田市まるごと観光プロジェクト」により、周遊施策と消費行動への導線づくりを推進していきたいと考えています。
議員 太田市観光物産協会ガイドブックを「周遊の入口」として再構築することについて伺います。
産業環境部長 ガイドブックを「周遊の入口」として再構築することは重要であり、協会に積極的に助言していきたいと考えています。
議員 プロスポーツの試合会場でガイドブックを配布することにより、市内飲食店へと誘導する取り組みについて伺います。
産業環境部長 QRコードなどを含め、効果的な情報提供の方法を検討していきたいと考えています。

議員 複数の情報誌を整理し、統合的に発信することについて、副市長の所見を伺います。
副市長 それぞれの内容を精査し、できる限り使いやすい情報誌にしていきたいと考えています。
議員 周遊促進を含めた活性化を市全体の課題として、どのように進めていくのかについて伺います。
副市長 行政と民間のそれぞれの強みを組み合わせることが周遊促進の鍵であり、「オール太田」の情報発信を進め、市内消費の拡大につなげていきたいと考えています。

